

主催：科学研究費補助金(基盤研究(A))プロジェクト「市場に対する経済的・社会的規制の手法に関する法律学的・経済学的研究」、神戸大学法経連携専門教育プログラム

共催：神戸大学社会科学系教育研究府、SC研究会(科学研究費補助金(基盤研究(B))プロジェクト「公法学からの市民社会への学際的・構成主義的接近—リスク・ガバナンス・社会連帯」)

第44回 エコノ・リーガル・スタディーズ(ELS)ワークショップ /ISSワークショップ

キャス・サンスティーン『恐怖の 法則』をめぐって

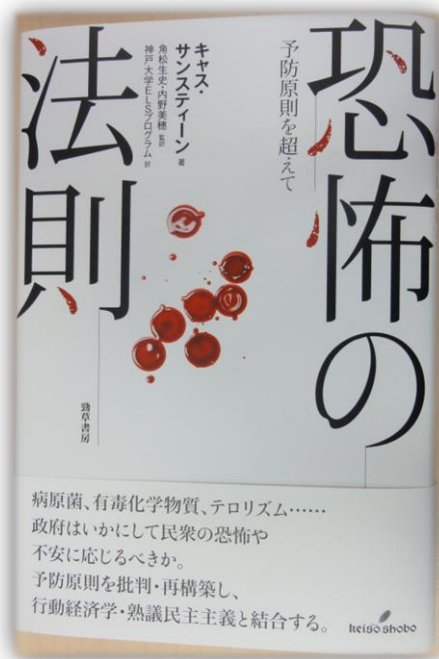
報告者：角松生史氏

(神戸大学大学院法学研究科教授(行政法))

「話題提供—監訳者の立場から」

コメント：若松良樹氏

(学習院大学法科大学院教授(法哲学))



このほど、キャス・サンスティーン(ハーバード大学ロースクール教授)の著書”Laws of Fear. Beyond the Precautionary Principle”(Cambridge University Press, 2005)の翻訳が出版されることになりました。(角松生史/内野美穂(監訳)、神戸大学ELSプログラム(訳)『恐怖の法則—予防原則を超えて』(勁草書房、2015年)。

同書は、環境法分野において近時注目が高まっている予防原則について根底から批判・再構築を試みるとともに、行動経済学の知見を取り入れつつ熟議民主主義論との結合を試みたものです。また同翻訳は、神戸大学法経連携専門教育プログラム(ELSプログラム)外国書講読授業(2012年度後期)の成果でもあります。

そこで本ワークショップでは、監訳者の一人である角松生史教授から同書をめぐる論点を提示して頂いた上で、若松良樹教授からコメントを頂き、幅広い立場から議論したいと考えています。どなたでもふるってご参加頂ければ幸いです。

コーディネーター：山本顕治(神戸大学)、高橋裕(神戸大学)

日時：2015年3月11日(水) 15:00~17:00

場所：神戸大学六甲台第1キャンパス

国際協力研究科大会議室(入場自由)